

物語が愛されるまで  
～様々なシンデレラストーリー～

福岡県立鞍手高等学校

嶋野 結, 宮園 凜, 村上 彩音, 柳 雛真, 渡邊 瑞生  
指導教員 長尾俊太郎

### 1. テーマ設定の理由

私達は世界中で有名な物語がどんなルートでどんな風に今日まで語り継がれてきたのか、その歴史を研究したいと思った。そこで、最も代表的な物語であるシンデレラを例に挙げ研究を行った。

### 2. 研究方法

一般的にシンデレラストーリーと呼ばれている作品の中から5つを選び、私たちにとって最も身近であるウォルトディズニーの作品である『シンデレラ』を最終地点と定義し、それらの5つの作品をそれぞれ比較し研究を行った。その研究にあたって比較する際シンデレラストーリーの定義を5つあげた。

1. 主人公へのいじめ
2. 援助者の出現
3. 非日常的な出来事
4. 幸せになるための試練
5. ハッピーエンド

私たちが研究する6つの作品は次の通りである。

1. ウォルトディズニーのシンデレラ
2. ロドピスの靴
3. 葉限
4. 落窪物語
5. サンドリヨン
6. 灰かぶり

この6つの作品についてシンデレラストーリーの定義をそれぞれ当てはめていく。

### 3. 6つの作品について

最終地点と定義したウォルトディズニーの『シンデレラ』についてまとめると以下の通りである。

- (1) ウォルトディズニーのシンデレラ

物語の生まれた場所：アメリカ合衆国 成立年代：1950年

あらすじ

継母と継子からの精神的苦痛と肉体労働を強いられ、それでもくじけないシンデレラ。そんなある日シンデレラに転機が訪れる。お城で王子様が婚約者を探す舞踏会を開いた。しかしシンデレラは継母から労働を押し付けられ、舞踏会に参加はできなくなった。悲しむシンデレラのもとに魔法使いが現れた。魔法使いは綺麗なドレスとガラスの靴を与えた。一つだけ条件があり、それらは12時を過ぎると元の姿に戻ってしまう。シンデレラはその条件を踏まえ舞踏会へ向かう。舞踏会でシンデレラは王子様と恋におちる。12時になり魔法が解ける前にシンデレラはお城を去らなくてはならない。しかし去り際にシンデレラはガラスの靴を片方落としてしまった。その靴を頼りに王子様はシンデレラを探し出そうと、国中の女性に靴を履かせた。ついにシンデレラの家へ王子様の一行が訪れる。継母は自分の娘たちに靴を履かせようとするが、足が入らない。王子様一行が家去ろうとしたとき奥からシンデレラが現れる。シンデレラが靴を履くとぴったりとはまった。シンデレラは王子様と結ばれ、幸せに暮らした。

このディズニーのシンデレラの物語を先程提示したシンデレラストーリーの定義に当てはめると以下ようになる。

1. 継母と継子からのいじめ
2. 魔法使いの出現
3. 舞踏会の開催
4. 落としたガラスの靴を頼りに王子様が探す
5. 王子様との結婚

以上のようにほかの5つの作品についても同様にみていく。

まずは最も古いシンデレラストーリーとされる、ロドピスの靴から説明していく。

## (2) ロドピスの靴

物語の生まれた場所：エジプト 成立年代：紀元前6世紀

あらすじ

ロドピスは北ギリシアの生まれだったが、幼い頃に海賊にさらわれ、サモス島の金持ちに奴隷として買われた。やがて彼女が美女に成長すると、主人はこれを当時栄えていたエジプトのギリシア人の町ナウクラティスに高値で売りに出した。彼女を買ったのはハラクソスという富豪で、ハラクソスはロドピスを自分の娘のように着飾らせ、庭園付きの別荘を買い与えて何人もの侍女をつけ、大切に育てていた。ある日、ロドピスが庭園で水遊びをしていると、1羽の鷲が舞い降りて、侍女の手からロドピスの靴の片方を奪って飛び去った。鷲はそのまま首都メンフィスに飛び、野天で国政について語っていたアマシス王の頭上を旋回し、靴を彼の膝の上に落とした。王は、その靴の美しさと出来事の不思議さに心打たれ、エジプト中に使いを出して、ついにロドピスを探し当てた。ハラクソスは、泣く泣くロドピスを差し出し、王は彼女を妃とした。

この物語をシンデレラストーリーの定義に当てはめる。

1. 海賊にさらわれ、奴隷として買われる
2. 富豪がロドピスを屋敷に連れ帰り恵まれた生活を送る
3. 庭園で水遊びをしていると1羽の鷺がロドピスの靴を奪い去る
4. 鷺が王の膝の上に靴を落とす
5. 王は靴の持ち主であるロドピスを探し出して結婚する

### (3) 葉限

物語の生まれた場所：中国 成立年代：唐代

あらすじ

主人公ダジャはいつも継母にいじめられていた。雌牛を放牧すると同時に麻三斤を紡ぐことを命じられる。それを雌牛が助ける。しかし、そのことを知った継母に雌牛を殺されてしまう。その骨を大切に埋めた。祭りの日、継母は実子には美しく着飾らせて出かけるが、ダジャには穴の開いた桶で水をくむこと、三斗の緑豆とゴマをより分けることを命じる。それを小鳥に助けられる。牛の骨を埋めたところには美しい衣装と金のアクセサリーとくつがあった。それを身につけて祭りに行く。途中橋を渡るときに靴の片方を皮に落とす。靴を拾ったその土地の主人の息子が一人一人にこの靴を履かせる。ダジャを探し当てて結婚。しかし、里帰りしたとき、嫉妬した継母にダジャは殺される。継母の実子はダジャになりすますが、美しく無いため、人に「米はつけばつくほど白くなる。肌は挽けば挽くほどきめ細やかになる。」と教えられて、臼の中に入り、継母の実子は実の母親に挽かれて死んでしまう。その母親もそれを見て死に、ダジャはよみがえる。

この物語をシンデレラストーリーの定義に当てはめる。

1. 継母からいじめを受ける
2. 無理難題を雌牛と鳥が手伝う
3. 雌牛の骨を埋めたところに美しい衣装と金のアクセサリーと靴を発見する
4. 祭りの日継母に無理難題を命じられる
5. その土地の地主の息子と結婚する

### (4) 落窪物語

物語の生まれた場所：日本 成立年代：平安時代中期

あらすじ

妻を亡くした中納言の源忠頼。北の方を後妻とし、彼女との間に4人の娘ができた。しかし北の方は自分の子どもだけをかわいがり、先妻の子どもでは畳が落ち窪んだ部屋に住まわせ、徹底的にいじめる。押し込められた部屋の様子から、先妻の子どもは「落窪の君」と呼ばれるようになった。そんな落窪の君の味方は、女房の阿漕だけである。落窪の君は他の4人の娘よりもはるかに美しかったのですが、表に出ることのない彼女の姿を知る人はほ

とんどいなかった。そんななか、阿漕は自身の夫である帯刀を介して、美男子として評判の高かった右近の少将に落窪の君を紹介した。落窪の君と会った右近の少将はあっという間に心を奪われ、2人は数度の逢瀬を重ねた後、結婚の約束をする。これに怒ったのが、自分の娘である四の君を右近の少将と結婚させようと考えていた北の方。落窪の君を納戸に幽閉。さらに、自身の叔父で同居をしていた典薬助と落窪の君を結婚させようと画策した。すんでのところ右近の少将と阿漕、そして北の方の実子でありながら落窪の君を慕っている三郎君が幽閉されていた落窪の君を救出。落窪の君と右近の少将は、晴れて結婚をすることができた。一夫多妻制が当たり前の当時としては珍しく、落窪の君だけを妻とし、一生愛し抜く。道頼は姫君をいじめた継母に復讐を果たし、中納言一家は道頼の庇護を得て幸福生活を送るようになった。

この物語をシンデレラストーリーの定義に当てはめる。

1. 継母に虐げられ、畳の落ち窪んだ部屋に住まわされる
2. 阿漕と夫の帯刀が右近の少将を紹介する
3. 右近の少将が落窪の君に恋をする
4. 継母が落窪の君を納戸に幽閉する
5. 救出された落窪の君は右近の少将と結婚する

#### (5) サンドリオン

物語の生まれた場所：フランス 成立年代：1697年

あらすじ

昔々、サンドリオン（灰かぶり）と呼ばれている美しく心の優しい娘がいた。本当は貴族の娘なのだが、意地悪な継母とその連れ子である二人の義理の姉にその美しさを妬まれ、まるで召使のように扱われていた。ある時、この国の王子様が舞踏会を催すことになり、二人の義理の姉は着飾って出かけた。サンドリオンも行きたかったのだが、もちろん連れて行ってもらえない。一人になると、悲しくなったサンドリオンは泣き出してしまった。すると、サンドリオンの名付け親である仙女が現れて魔法の杖を振り、舞踏会へ行けるように、素敵な支度を整えてくれた。美しいドレス、かぼちゃから作った豪華な馬車。そして、燦然ときらめくガラスの靴。しかし仙女は1つ注意を与えた。12時を過ぎれば馬車もドレスも元の粗末な姿に戻ってしまうから、必ず12時までには舞踏会を出るように、と。サンドリオンは、きつとご注意を守ります、と約束して、大喜びで舞踏会へ出かけた。さて、舞踏会に着いた美しいサンドリオンは、たちまちみんなの注目の的となった。王子様もサンドリオンに魅了され、踊りに誘って愛の言葉をささやいた。そうして夢のような時間を過ごしているうちに、サンドリオンは時の経つのも忘れてしまった。気がつくと、時計が12時を打ち始めている。仙女との約束を思い出したサンドリオンは駆け出した。まだサンドリオンがどこの誰だか聞いていなかった王子様は引き留めようとしたが、サンドリオンはあっという間に消えてしまった。後にはサンドリオンが履いていた美しいガラスの靴が片一方だけ取り残

されていた。王子様は何とかしてあの舞踏会の女性を探し出そうと、おふれを出した。ガラスの靴がぴったり合う女性を自分の妻にする、という。身分の高い女性から次々にガラスの靴を試したが、ガラスの靴がぴったり合う女性は誰もいなかった。そしてサンドリヨンの義理の姉たちの番になり、姉たちは何とかしてガラスの靴を履こうと無理をしたが、無駄だった。そこへサンドリヨンが進み出て、王子様のお使いに、私にも試させていただけませんか、と言った。義理の姉たちは、召使風情が何を言うの、と大笑いしたが、王子様の命令はすべての娘に試させるように、というものだったので、お使いはサンドリヨンにも履かせてみた。するとガラスの靴はまるであつらえたようにぴったりだった。サンドリヨンはもう片一方をポケットから取り出して履いた。お使いは、この方こそ王子様を探しておられた女性だ、と言って、サンドリヨンをお城へ連れていった。王子様はたいそう喜び、数日後にサンドリヨンと結婚式をあげた。心優しいサンドリヨンは、今までの意地悪を詫びた義理の姉たちを許し、たいそう親切に遇した。

この物語をシンデレラストーリーの定義に当てはめる。

1. 継母と二人の義姉からいじめを受ける
2. サンドリヨンの名づけ親であり後見人である仙女が現れる
3. お城での舞踏会に参加する
4. ガラスの靴を落とす
5. 王子様がガラスの靴の持ち主であるサンドリヨンを見つけ出し結ばれる

#### (6) 灰かぶり

物語の生まれた場所：ドイツ 成立年代：1812年

あらすじ

主人公の母は病気で死んでしまう。その後、父が再婚し、その女は2人の娘を連れてやってくる。継母と二人の姉は、主人公に粗末な服を着せ、家事を全て押しつけ、ひどく扱い、夜はかまどの隣の灰の中に寝かせ、彼女たちはその娘を「灰かぶり」と呼んだ。灰かぶりは父親に頼んで与えてもらったハシバミの小枝を母のお墓の前に植え大泣きすると、その涙で小枝が育ち、やがて1本のハシバミの木になる。灰かぶりは1日に3回その木の前で神さまにお祈りをするようになる。ある日、王子の花嫁を探すため、3日間の舞踏会が開かれる。灰かぶりは継母に自分も行かせてもらえるよう頼んだが、継母はそれを許さず、「暖炉のなかにばらまいた豆を時間内に全部戻す」という無理難題を課し、灰かぶりを残して舞踏会に行ってしまう。2日目も継母が無理難題を課すが、灰かぶりが木のそばで、手伝いを求めると二羽の小鳥が現れ、豆を戻すのを手伝ってくれたおかげで、無理難題をクリアする。灰かぶりはまた木の前で小鳥にお願いをし、ハシバミの木を揺ると豪華なドレスと銀の靴が落ちてくる。そして灰かぶりは舞踏会に行き、王子は美しい灰かぶりに一目惚れする。ダンスの後、王子は灰かぶりを追いかけたが、灰かぶりは見つからないよう家に戻った。3日目も同じように、ハシバミの木を揺すって落ちてきた最高に美しいドレスと純金ででき

た美しい靴を身に着けて舞踏会へ行き、王子と最後まで踊った。灰かぶりは2日目のように逃げ帰ろうとしたが、階段で靴を片方ひっかけてしまった。王子はその小さな金の靴の持ち主と結婚すると言って娘のいる家を訪れて回った。持ち主が見つからず、最後の一軒である灰かぶりの家に来る。1番上の義姉がその靴を履こうとしたが、親指が入らなかった。継母は親指を切らせて無理やり履かせた。王子が彼女を連れて行こうとすると、2羽の鳩が靴の持ち主が間違っていることを告げる。王子はまた灰かぶりの家に行き、次は2番目の義姉が靴を履こうとしたが、今度はかかとが入らなかった。継母は、同じようにかかを切らせ、無理やり履かせた。王子が彼女を連れて行こうとすると、再び2羽の鳩が本物の持ち主でないことを知らせる。そして、最後に灰かぶりが靴を履くと、ぴったりはまる。王子は灰かぶりの顔を見て、間違いなくあの舞踏会で踊った娘だと確信し、お城に連れて帰り結婚した。

この物語をシンデレラストーリーの定義に当てはめる。

1. 継母、二人の義姉からいじめを受ける
2. 義姉達からの難題を二羽の小鳥が手伝う
3. 木を揺すって落ちてきた綺麗なドレスと靴を身に纏って舞踏会に行く
4. 黄金の靴を落とす
5. 王子様が靴の持ち主を探し出し王子様と結婚する

#### 4. シンデレラストーリーが広がった経緯についての先行研究

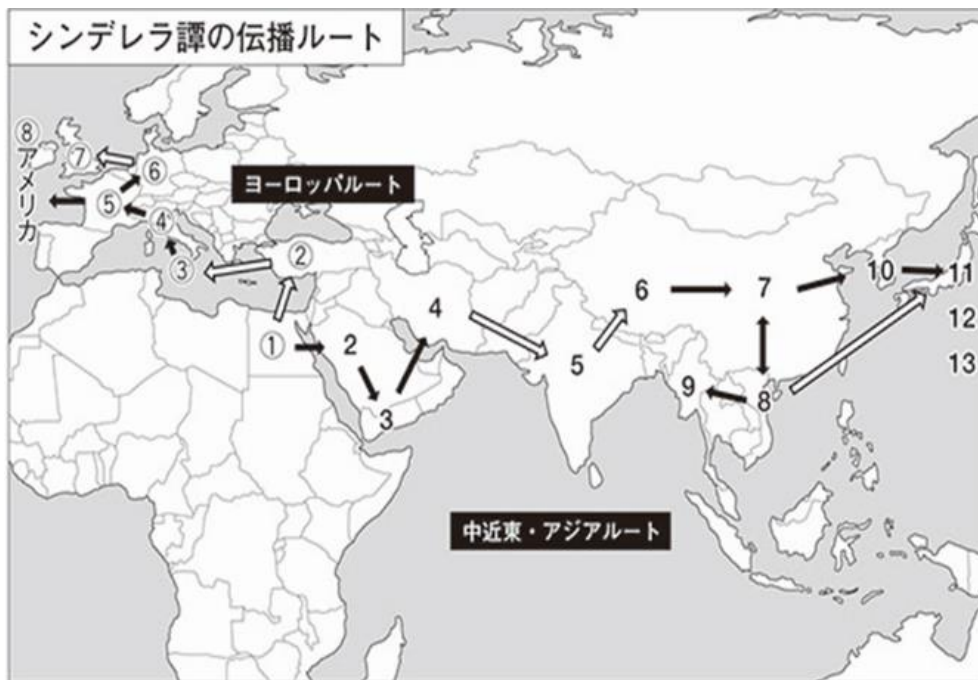
(1) シンデレラストーリーの基盤となる以下の三つの条件はほとんど変わらず継承されている。

1. その時代の死亡率の高かった背景を物語っている
2. 地域の人々の宗教観や動物観を反映している
3. 非日常な世界ではヒロインが自ら行動を起こすようになる

ただし、類話には継承されていく中で一部が欠落しているものもある。

(2) シンデレラストーリーが広がった経緯として、二つの説があげられている。

1. 人間は先祖が同じであるため、思考回路が共通している。  
そのため、各地で自然に類似した物語が生まれたという説
2. エジプトで一つの物語が生まれ、その物語が波紋状に広がっていったという説（下図参照）



ヨーロッパルート ①古代エジプト「ロドピスの靴」(紀元前5—6世紀) ……  
 ②トルコ「毛皮むすめ」……③パレルモ「なつめ椰子・美しいなつめ椰子」⇒  
 ④イタリアのバジレ「灰かぶり猫」(1634—36) ⇒⑤フランスのペロー「サ  
 ドリヨン」(1695) ⇒⑥ドイツのグリム兄弟「灰かぶり」(1812) ……⑦イギ  
 リス「イグサ頭巾」……⑧アメリカのディズニー映画『シンデレラ』(1950)  
 中近東・アジアルート ①⇒2 アラビア「足飾り」(『アラビアンナイト』所収、  
 中世) ⇒3 イエメン「可愛いヘナ」⇒4 ペルシャ「金の燭台」……5 イン  
 ド「ハンチ物語」……6 チベット「奴隷の娘」⇒7 中国「葉限」(860) ⇔8 ベト  
 ナム「タムとカム」(紀元前4世紀?) ⇒9 ミャンマー「雨季の起こり」…10朝  
 鮮「コンジ・パッジ」(豆福と小豆福) ⇒11日本「糠福と米福」、12『落窪物語』  
 (10世紀頃)、13「姥皮」(室町時代のお伽草子)

(出典 『シンデレラの謎』 から引用)

## 5. 考察

まず、シンデレラストーリーが広がった経緯に関する二つの説にの疑問点を2つあげ  
 る。

1. 人間は先祖が同じであるため、思考回路が共通している。そのため、各地で自然に  
 類似した物語が生まれたという説については、先祖が同じであるとは言え、こんなに  
 多くの類似した物語が自然にうまれるのは、各地の風土や宗教的価値観の違いから不  
 自然であると考えられる。
2. エジプトで一つの物語が生まれ、その物語が波紋状に広がっていったという説につ  
 いては、最古のシンデレラストーリーと呼ばれるエジプトの『ロドピスの靴』が派生  
 し、世界に広がったと考えれば、エジプトから移動距離の短いヨーロッパには伝わる

のが遅く、エジプトから移動距離の長いアジアには伝わるのが早く、伝わった年代に差があり、不自然であると考え、

私たちは、この二つの説はどちらも正しいとは言えないと考え、これまでの研究成果を踏まえて、次のように考える。

それは、エジプトと中国という二つの地域で偶然似たような物語が生まれ、その物語が近隣諸国へ波紋状に広がり、長い年月の間に様々な物語が混合し、各地の特色を活かした多くの物語が誕生したのではないかと考える。

エジプトという一つの地域から世界各地に広がったとすると、上記のように世界各地に広がる年代に差がある。元になった物語は一つではないのではないかと考え、伝わった年代が早く、古くから歴史がある中国とエジプトの二つの物語が原点であると考えた。

また、類話にも多少の違いはあるが、特に近隣地域では物語の構造が似ていることから、もととなった一つの物語が近隣地域に波紋状に広がり、様々な物語が派生したと考えた。

## 6. 結論

多くの人に愛されている物語は、類話の中でも、風土などにより違いはあるが、近隣地域では思考が共通していることもあり、特に物語の構造や内容が似ている。そのため、いくつかのもととなった物語が生まれ、それぞれの近隣地域で波紋状に広がり、伝承され、現在、様々な物語が様々な形で親しまれている。

## 7. 出典

- ・『シンデレラの謎』 浜本隆志著 河出ブックス
- ・「砂漠の国のシンデレラ」 吉原高志 吉原素子 (1997) 「初版 グリム童話集〈1〉」
- ・『落窪物語』 あらすじの紹介 [https://honcierge.jp/articles/shelf\\_story/7855](https://honcierge.jp/articles/shelf_story/7855)
- ・落窪物語 Wikipedia
- ・『世界のシンデレラ物語』 山室静著 新潮選書 1979
- ・『灰かぶり (シンデレラ)』のあらすじなど (KHM021) - グリム CLUB』  
<https://grimmdowaclub.net/khm021/>
- ・シンデレラ\_T.com <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/meisakudrama/meisakudrama/cinderella.html>